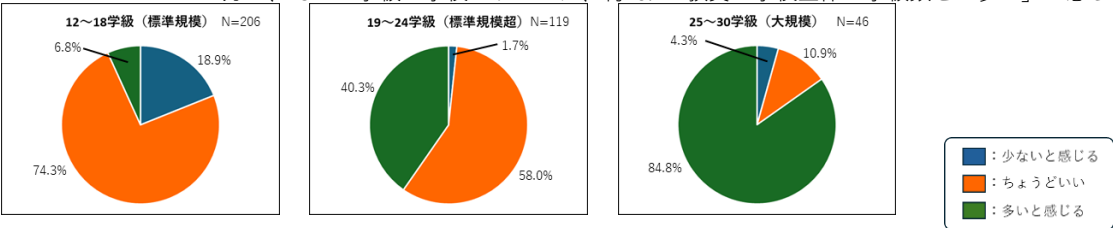


小学校教員 設問7 勤務している学校全体の学級数をどう感じますか。

【分析結果】1校当たりの学級数の目安：24学級未満

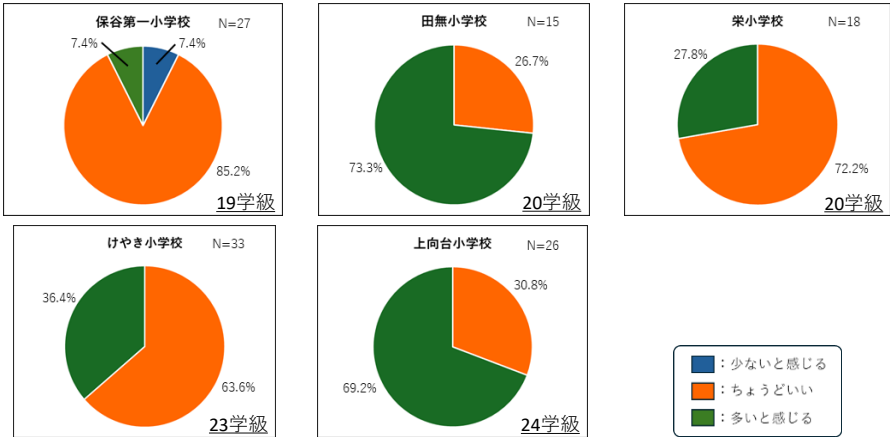
● 学校規模別に集計

12～24学級の学校においては、「ちょうどいい」と感じている教員が半数以上であった。  
 一方で、19～24学級の学校においては、約40%の教員が学校全体の学級数を「多い」と感じていた。



● 19～24学級を学校別に集計

上向台小学校(24学級)においては、けやき小学校(23学級)と比較して、「ちょうどいい」と感じている教員数が半減している。



学級数の増加に伴い「ちょうどいい」と感じている教員数が減少傾向である中、田無小学校においては、学校全体の学級数が「多い」と感じている教員が半数以上であった。

田無小学校の特徴：学校の敷地・施設に対して、特別支援学級を含めた学校全体の学級数が多く、教室等の使用状況に大きく影響している。

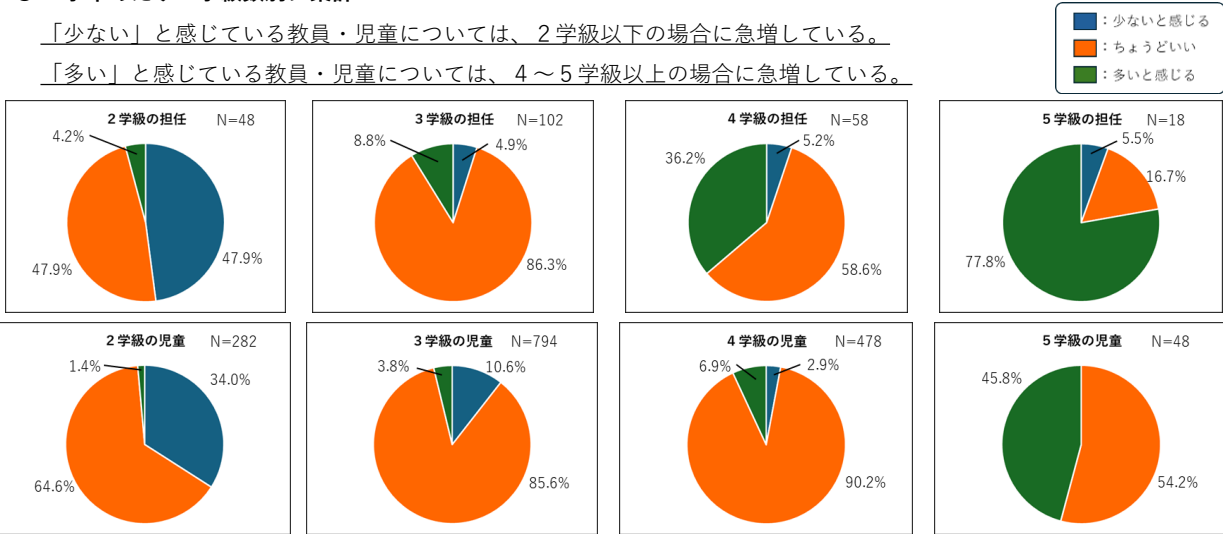
小学校教員 設問8・小学生保護者 設問7 担任・所属している学年の学級数をどう感じますか。

【分析結果】1学年当たりの学級数の目安：3～4学級程度

● 1学年あたりの学級数別に集計

「少ない」と感じている教員・児童については、2学級以下の場合に急増している。

「多い」と感じている教員・児童については、4～5学級以上の場合に急増している。



小学校教員 設問9・小学生保護者 設問5・中学生保護者 設問5 1学年当たりのちょうどいいと感じる学級数について

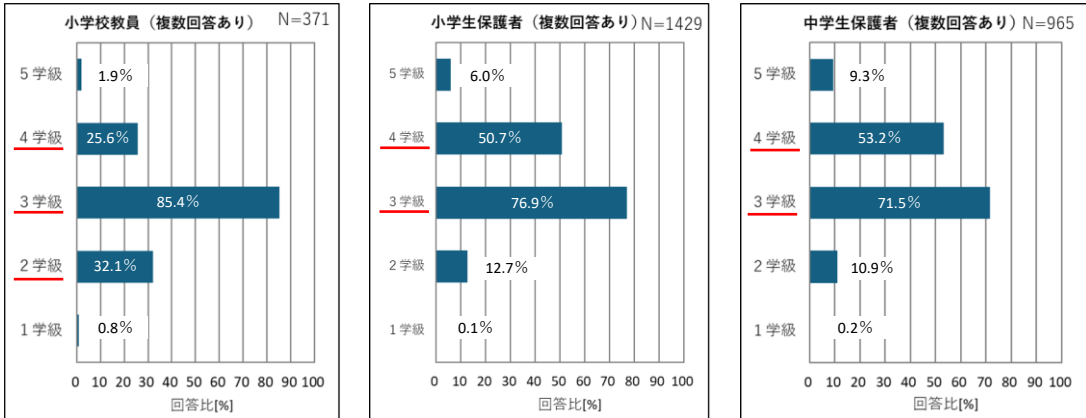
【分析結果】1学年当たりの学級数の目安：3～4学級程度

● 属性別に集計

2学級については、小学校教員の30%程度がちょうどいいと感じているが、小・中学生保護者では10%程度となっている。

3学級については、小学校教員及び小・中学生保護者ともに70～80%程度がちょうどいいと感じている。

4学級については、小学校教員の20%程度がちょうどいいと感じているが、小・中学生保護者では50%程度となっている。



小学校の適正規模については、アンケート調査の結果を踏まえると、  
**1校当たり18～24学級（1学年当たり3～4学級）**  
 とする意見が多い。

小学校教員 設問4及び5・小学生保護者 設問3 学級数の多寡により生じている影響・特に配慮すべき影響

● 1校当たりの学級数に関する結果（抜粋）

|                   | 選択肢                                                            |
|-------------------|----------------------------------------------------------------|
| 25～30学級を下回ると大きな影響 | 教員数が少ないため、経験、教科、特性などの面でバランスの取れた配置を行いにくい                        |
|                   | 教職員一人当たりの校務負担や行事に関わる負担が重くなり、平日の校外研修や他校で行われる研究協議会等に参加することが困難となる |
|                   | 学校が直面する様々な課題に組織的に対応することが困難な場合がある                               |

● 1学年当たりの学級数に関する結果（抜粋）

|                 | 選択肢                                                        | 特に配慮すべきと考える保護者の割合 |
|-----------------|------------------------------------------------------------|-------------------|
| 4～5学級を下回ると大きな影響 | クラス替えでメンバーが変化しないことから、いじめが発生したときに当事者を離せないなど、人間関係が固定化されやすくなる | 73.7%             |